

Makuhari's Memory

全国にお互いの応援団！

令和4年5月11日～13日の3日間、「管理職の必須知識講座」を受講し、無事に修了証書をいただきました。全国から55名の受講生が参加した本研修では、職場での同様の課題が窺えました。メンタル不調の職員を抱えていたり、指導とハラスメントとの狭間にジレンマを感じながらの奮闘ぶりがグループ討議で盛り上がり、また講師の方々も同様であることに勇気づけられました。

研修のたびに、生き方を問われている気がします。

今回の研修で、全ての講義において、誠実さ、言葉の大切さ、感情の言語化、想い・志などが通じると感じました。管理職として「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」(山本五十六)を肝に銘じたいと改めて感



橋口 雅子

長崎県五島市
市民生活部長
〈受講研修科目〉
管理職の必須知識講座
第36期第1組(令和4年度)

じた研修でした。

LINEグループでつながりができましたので、今後も同じ思いで頑張っている仲間が全国にいることを支えお互いに奮闘しましょう！

コロナ禍の中、開講に苦慮していただいた市町村アカデミーの皆様はじめ、講師の方々、関係者の皆様、そして貴重な機会を与えてくださった人事担当部署、職場の皆様にご感謝いたします。

多くのヒントと知見が得られた貴重な研修

SDGsやカーボンニュートラル、デジタル化など、社会的に注目されているワードの意味はある程度理解しながらも、これらの政策課題に自治体としてどう向き合い、何に取り組むべきかを模索しながら業務に当たる日々を過ごしていました。このような中「政策の最先端」との研修科目に惹かれ、令和4年5月11日～13日の3日間、受講させていただきました。

研修では、自治体が今まさに取り組むべき課題に関し、各分野で活躍されている講師の方々による分かり易く実践的な講義により、政策に反映するためのヒントや具体的な手法について楽しく学ぶことができました。特にダイバーシティの本来の意味やこども食堂の実像を知ること、その取組の重要性と必要性を深く理解することができました。班に分かれての意見交換会では、政策立案の難しさや悩みに共感するとともに、各地の特色ある施策を知ることができ、大変参考になりました。



田道 靖久

長崎県五島市
総務企画部政策企画課
政策企画班係長
〈受講研修科目〉
政策の最先端
第36期第1組(令和4年度)

また、外部から見た当市の印象、アピールポイントや戦略アドバイスなど、交流の機会がなければ得ることができない情報や助言をいただき、多くの気付きや発見のある、とても実りある研修となりました。

感染症防止の観点から交流には制限があったものの、研修を通して出会った各地の皆様と連絡を取り合い、情報共有を図りながら、一層業務に励みたいと思います。

最後に、講師の皆様、関係者の皆様、そして快く研修に送り出してくださいました職場の皆様にご心から感謝いたします。